

教学報告

文部科学省大学教育 改革支援プログラム 4件が 新規採択

文部科学省の「国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援」事業は、大学教育改革への取組が一層推進されるよう、各大学が取り組む教育プロジェクトに対し、国公立私立大学を通じた競争原理に基づいて、特色・個性ある優れた取組を選定するとともに、重点的な財政支援をおこない、高等教育のさ

らなる活性化を図るために文部科学省が公募するものです。

中央大学からは、さまざまな教育・研究の取組のうち、2007年度までに11件が採択されてきました。2008年度に新規選定された取組は、以下の通りです。

■ 大学教育の国際化加速プログラム（長期海外留学支援）

国際社会で貢献できる人材育成強化への取り組み（中央大学長期海外留学支援プログラム）

文部科学省では各大学の学部・大学院等の教育・研究水準の向上をはかる目的で各種の支援事業を行っていますが、本プログラムは大学院生を長期間（概ね3年間）にわたって海外の大学院等に派遣し、学位取得や専門分野の研究に従事させ、国際社会への貢献等に資する人材養成の強化等を目的として設けられているものです。

本学大学院からは学内選考を経て3人の大学院生が

応募し、内2人が採用されました。

全国的なレベルで見ますと、応募者数124人、採用者数72人であり、特に私立の大学院生の採用者数が20人であったことに鑑みますと、本学の大学院生はかなり健闘してくれたと言えます。

今後、より多くの院生諸君がこの種のプログラムを活用して研鑽を積み、やがて世界の人々に感銘を与えるような活躍をされることを祈念しています。

■ 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

グローバル化に対応した法曹養成プログラム

本法科大学院は、明治大学・琉球大学と共同申請した「グローバル化に対応した法曹養成プログラム」について、文部科学省より2008年度（平成20年度）専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラムに選定されました。このプログラムは、法曹を目指す者に対して、グローバル化社会への対応能力を涵養すると共に、国際社会で活躍できるキャリア・パスの体系的な形成支援を行うものです。

そのために、在籍学生・司法修習前後の全ての修了者までを対象として、①海外の法律事務所・研究教育機関と連携した海外での教育・研修、②海外の専門家を招聘し国内で実施する教育・研修、③グローバル法曹としてのコミュニケーション・スキルアップ・プログラム、④法理論と法実践のグローバル化に関わる調査・研究、⑤積極的な情報発信、等を実施します。

※ 27 ページに関連記事あり

■ 質の高い大学教育推進プログラム（教育 GP）

地域活性マインドを有する高度職業人の養成

2005年に創立100周年を迎えた経済学部は、その伝統を受け継ぎながら、社会に有意な人材を輩出するため、現在も多岐にわたる改革に取り組んでいます。

このような中で、文部科学省の「国公立大学を通

じた大学教育改革支援プログラム」のひとつ、2008年度「質の高い大学教育推進プログラム（教育 GP）」に、経済学部が申請した『地域活性マインドを有する高度職業人の養成—「中大・八王子方式」による実践的フィー

『ルド教育に基づくクラスター教育プログラム』が採択されました。

これは、2004年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」において採択され、大学院教育で展開した「『中大・八王子方式』による地域活性化」を通じて、本学が周辺地域自治体との共同事業の中で構築した地域活性スキームを活用し、これに基づく教育プログラムを発展的に学士課程段階の経済学部

において展開をしていきます。

そして、地域における実務的な政策主体である自治体担当者との良好なコミュニケーションと、機動的な組織運営能力を兼ね備えた「地域活性マインド」を有する高度専門職業人を養成するものです。

このプログラムは3年間にわたる取り組みになりますが、内容・成果につきましては、広く皆様方にお知らせしていく予定です。

■ 戦略的大学連携支援事業（教育研究高度化型）

スーパー連携大学院構想：産学官の広域連携を通じたイノベーション博士人材の育成

この事業は、国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的として、2008年度から新規に開始した事業です。

本学が連携校として参加するプログラムは、「スーパー連携大学院構想：産学官の広域連携を通じたイノベーション博士人材の育成」をテーマに、◎社会的人材ニーズに真に答えるイノベーション博士人材育成シ

ステム、◎連携大学間をはじめ、地元企業や自治体などを活性化する仕組み、◎連携大学の施設に加え、サテライト施設やインキュベーション施設等を含む包括的な産学官連携拠点の首都圏への設置、などの具体化方策を総合的に設計する予定です。

参加大学は、電気通信大学を代表として、北見工業大学、弘前大学、長岡技術科学大学、熊本大学、大分大学、秋田県立大学、中央大学、崇城大学の9大学で、2010年度までの継続事業です。

■ 各プログラムの概要（文部科学省ホームページより）

■ 大学教育の国際化加速プログラム(長期海外留学支援)

「長期海外留学支援」は、大学が実施する海外留学の取組により学生等を長期間海外の大学院等に派遣し、学位取得や専門分野の研究を行わせることなどにより、国際社会への貢献等に資する人材の養成及び我が国の大学の国際競争力の強化等の大学教育の改革を一層促進させることを目的としています。

■ 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

本プログラムは、高等教育機関における高度専門職業人養成等の一層の強化を図ることを目的として、国公立の大学が行う、産業界等との連携に基づいた教育方法等の充実に資する先導的な取組について支援するものです。

■ 戦略的大学連携支援事業

「戦略的大学連携支援事業」は、国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化等を図ることを目的としています。

■ 質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)

「質の高い大学教育推進プログラム」(2008年度予算額86億円)は、大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質保証、国際競争力の強化に資することを目的とします。